

平成28年7月13日(水)

- ◎宇佐市(市長との意見交換会)
  - ・お試し暮らし施設 視察
- ◎かんなび研究会(県外からの移住者との意見交換会)
- ◎民泊



- ・地方創生や定住、移住施策について宇佐市の取組の説明を受けた後、信國副市長や財政課長、まちづくり推進課長と意見交換をしました。
- ・移住者と地域との間の橋渡しをきめ細かくするため、市が独自で設置している「集落定住支援員」の取組により、移住者からの移住後の苦情がないということでした。



調査の内容

- ・銚絵通り交流館「ラシュレ安心院」で、集落支援員から活動の説明を受けた後、現在活用中のおためし施設のひとつを視察。



- ・県外からの移住者たちでつくる「かんなび研究会」が栽培するオリーブ畑の視察と意見交換をしました。宇佐市に移住を決めた経緯や移住者の視点での行政支援の在り方、オリーブ栽培の苦勞等を聞かせていただきました。



- ・宿泊は、4つの班に分かれ、「グリーンツーリズム豊後大野市農家民宿研究会」に分泊し、各家庭で民泊の現状と課題、今後の促進対策等を夕食を囲みながら、語り合いました。

平成28年7月14日(木)

- ◎豊後大野市(市長との意見交換会)
- ◎道の駅きよかわ(地域の活性化の拠点としての取組)
- ・集出荷場の視察



・新エネルギーの導入促進やジオパークの継承、地域資源を最大限に生かした地域振興を進める豊後大野市の「第2次豊後大野市総合計画」の取組の説明を受けた後、橋本市長と意見交換をしました。

調査の内容



・買い物弱者支援、野菜の集出荷など地域の活性化の拠点としての「道の駅きよかわ」の取り組みを三浦駅長から、説明を受けた後、過疎・高齢化の地域の現状や課題等について意見交換をしました。



・高齢となり、野菜の出荷作業が困難になっていく高齢者の支援、また地域の特産物であるクリーンピーチの生産体制を整備するため平成27年度地域活力づくり総合補助金を活用して整備した「清川ふるさと物産館集出荷加工施設」を視察しました。当日は、集荷してきたトマトを出荷する作業をしていました。この支援により地域の高齢者の出荷作業の負担軽減につながりました。